

事後評価調書(案)

I 事業概要																																																								
事業名	農業農村整備事業(経営体育成基盤整備事業)																																																							
地区名	東境銀河地区																																																							
事業箇所	刈谷市																																																							
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県のほぼ中央刈谷市東境町、西境町に位置する水田地帯である。</p> <p>本地区の農地は、昭和30年代後半に整備されたが、区画は10aと小さく、用・排水路は老朽化し、営農に支障をきたしていた。</p> <p>こうした状況を改善するため、農地の区画拡大や用・排水施設の改修など農業生産基盤の整備を行う経営体育成基盤整備事業を平成16年度から実施し、平成21年度に完了した。</p>																																																							
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>農地の区画を30a以上に拡大し、大型機械の導入を促すとともに、用・排水路を整備することで、管理の省力化と労働時間の短縮を図り、担い手農家への農地利用集積率を28.4%から47.9%まで高めることで、農業生産性の向上を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>																																																							
事業費	事業費		内訳																																																					
	10.6億円		■工事費 8.8億円、 ■用補費 0.2億円、 ■その他 1.6億円																																																					
事業期間	採択年度	平成16年度	着工年度	平成16年度	完成年度	平成21年度																																																		
事業内容	区画整理54.5ha、用水路13.3km、排水路9.8km																																																							
II 評価																																																								
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>大型機械の導入に対応する農地の区画拡大、用水のパイプライン化、排水路の改修により、労働時間が短縮され、営農の効率化が図られた。</p> <p>区画整理の面積別構成割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画面積</th> <th>30a未満</th> <th>30a以上50a未満</th> <th>50a以上</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前(H15)</td> <td>54.5ha (100%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>54.5ha (100%)</td> </tr> <tr> <td>現在(H25)</td> <td>—</td> <td>38.2ha (70%)</td> <td>16.3ha (30%)</td> <td>54.5ha (100%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>労働時間 (10a当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前(H15)</th> <th>計画(H21)</th> <th>現在(H25)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>62hr</td> <td>20hr</td> <td>15.2hr</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td>47hr</td> <td>7hr</td> <td>7hr</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>—</td> <td>8hr</td> <td>8hr</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(地元聞き取り)</p> <p>主要作物の作付面積(輪換耕地)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前(H15)</th> <th>計画(H21)</th> <th>現在(H25)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>38ha</td> <td>38ha</td> <td>48ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小麦・大豆</td> <td>26ha</td> <td>26ha</td> <td>16ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(地元聞き取り)</p>					区画面積	30a未満	30a以上50a未満	50a以上	合計	実施前(H15)	54.5ha (100%)	—	—	54.5ha (100%)	現在(H25)	—	38.2ha (70%)	16.3ha (30%)	54.5ha (100%)	区分	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考	水稻	62hr	20hr	15.2hr		小麦	47hr	7hr	7hr		大豆	—	8hr	8hr		区分	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考	水稻	38ha	38ha	48ha		小麦・大豆	26ha	26ha	16ha	
	区画面積	30a未満	30a以上50a未満	50a以上	合計																																																			
	実施前(H15)	54.5ha (100%)	—	—	54.5ha (100%)																																																			
	現在(H25)	—	38.2ha (70%)	16.3ha (30%)	54.5ha (100%)																																																			
	区分	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考																																																			
水稻	62hr	20hr	15.2hr																																																					
小麦	47hr	7hr	7hr																																																					
大豆	—	8hr	8hr																																																					
区分	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考																																																				
水稻	38ha	38ha	48ha																																																					
小麦・大豆	26ha	26ha	16ha																																																					

①事業目標の達成状況	<p>担い手農家への農地利用集積が進み、計画を上回った。</p> <p>担い手への利用集積(本地区)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施前(H15)</th> <th>計画(H21)</th> <th>現在(H25)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集積率</td> <td>28.4%</td> <td>47.9%</td> <td>55.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>集積面積</td> <td>20.6ha</td> <td>34.8ha</td> <td>39.9ha</td> <td>受益72.6ha</td> </tr> <tr> <td>認定農業者</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(地元聞き取り)</p> <p>【達成状況に対する評価】 労働時間が短縮し、担い手農家への農地利用集積が計画を上回って進んでおり、事業目標は達成できた。 また、事業期間中に新たな営農生産組合が発足し、生産したコメを「銀河米」としてブランド化。ハイウェイオアシス刈谷の産直売り場で販売している。</p>	項目	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考	集積率	28.4%	47.9%	55.0%		集積面積	20.6ha	34.8ha	39.9ha	受益72.6ha	認定農業者	2人	4人	5人																									
	項目	実施前(H15)	計画(H21)	現在(H25)	備考																																								
集積率	28.4%	47.9%	55.0%																																										
集積面積	20.6ha	34.8ha	39.9ha	受益72.6ha																																									
認定農業者	2人	4人	5人																																										
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 なし</p> <p>【達成状況に対する評価】 なし</p>																																												
②事業効果の発現状況	<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>事業採択時</th> <th>計画(H21)</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>H16～H21(6年間)</td> <td>H16～H21(6年間)</td> <td>H16～H21(6年間)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>8.8</td> <td>8.8</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11.0</td> <td>10.6</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">効果の算定要因</td> <td>水稻労働時間</td> <td>(62hr/10a)</td> <td>20hr/10a</td> <td>15.2hr/10a</td> </tr> <tr> <td>水稻単収</td> <td>(511kg/10a)</td> <td>521kg/10a</td> <td>535kg/10a</td> </tr> <tr> <td>小麦単収</td> <td>(324kg/10a)</td> <td>330kg/10a</td> <td>381kg/10a</td> </tr> <tr> <td>担い手集積率</td> <td>28.4%</td> <td>47.9%</td> <td>55.0%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の算定要因の事業採択時の()書きは、事業実施前の値。 ・効果の算定要因の「水稻労働時間」と「担い手集積率」の実績は、地元聞き取り(H25)による。 ・効果の算定要因の「水稻単収」、「小麦単収」は、愛知県農林水産統計年報による。 <p>【事業期間に対する評価】 当初の計画どおりに事業を完了した。</p> <p>【事業費に対する評価】 事業計画内容を精査し、当初計画の事業費以下に抑えることができた。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 主要作物である水稻の労働時間の短縮、作物単収の増加、担い手への農地利用集積の向上が図られていることから、事業効果は概ね計画どおり達成されている。</p>			事業採択時	計画(H21)	実績	事業期間		H16～H21(6年間)	H16～H21(6年間)	H16～H21(6年間)	事業費 (億円)	工事費	8.8	8.8	8.8	用地補償費	0.2	0.2	0.2	その他	2.0	1.6	1.6	合計	11.0	10.6	10.6	効果の算定要因	水稻労働時間	(62hr/10a)	20hr/10a	15.2hr/10a	水稻単収	(511kg/10a)	521kg/10a	535kg/10a	小麦単収	(324kg/10a)	330kg/10a	381kg/10a	担い手集積率	28.4%	47.9%	55.0%
			事業採択時	計画(H21)	実績																																								
事業期間		H16～H21(6年間)	H16～H21(6年間)	H16～H21(6年間)																																									
事業費 (億円)	工事費	8.8	8.8	8.8																																									
	用地補償費	0.2	0.2	0.2																																									
	その他	2.0	1.6	1.6																																									
	合計	11.0	10.6	10.6																																									
効果の算定要因	水稻労働時間	(62hr/10a)	20hr/10a	15.2hr/10a																																									
	水稻単収	(511kg/10a)	521kg/10a	535kg/10a																																									
	小麦単収	(324kg/10a)	330kg/10a	381kg/10a																																									
	担い手集積率	28.4%	47.9%	55.0%																																									
③事業実施による環境の変化	<p>本事業は既存の施設の改修をしたもので、新たな造成を伴わないことから自然環境や生活居住環境へのマイナスの影響はない。</p>																																												
Ⅲ 対応方針(案)																																													
今後の事後評価の必要性	<p>主要目標が概ね計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。</p>																																												

改善措置の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	畦畔除去による区画整理は、安価で効果が期待できることから、他の事業にも積極的に採用する。
IV 事業評価監視委員会の意見	
V 対応方針	